

委員会報告

電子情報化委員会 ジオシンセティックス論文集を電子化!!

IGS 日本支部では年 1 回、ジオシンセティックスに関する技術開発や現場報告などを掲載した技術論文集であるジオシンセティックス論文集を発刊しております。これまで、1986 年に第 1 巻（この当時はジオテキスタイルシンポジウム発表論文集）を発刊して以来、2007 年まで既に 22 巻を発行しており、国内におけるジオシンセティックスの技術の普及・進歩において重要な役割を果たしております。

近年、電子情報・通信技術の発展により、様々な書籍において電子媒体化が進んできております。本論文集のような学術論文集においても例外ではなく、各学会において電子化が進められており、CD での販売や Web での掲載が一般的となってきました。また、電子化を行うことにより、より広くそして早く情報の発信を行うことが可能となり、国内外を問わず本論文集の読者が増加していくものと考えております。

このような社会情勢などからジオシンセティックス論文集においても電子化の要望が高まり、IGS 日本支部電子情報化委員会において検討を行い、幹事会にて議論を重ねた結果、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が構築した科学技術情報発信・流通総合システムである J-Stage において本論文集の公開を行うこととなりました。J-Stage は学協会の情報発信機能を支援するためのサイトであり、土木学会論文集など既に日本の多くの学術論文を掲載しています。これにより、本論文集が世界中のどこからでもパソコンで見ることが可能となり、会員における利便性も大きく向上するものと考えております。公開は発刊から 1 年間は会員のみとし、1 年経過した後はフリーの公開としております。

電子化の第 1 弾として、今年の論文集（2007 年）を 10 月後半から公開いたします。是非、一度アクセスしていただければと思います。公開につきましては、今後データが出来次第随時実施していく予定です。

過去の論文集の電子化を実施するにあたりましては、論文著者のみなさまのご理解が必要となります。つきましては、会告に掲載いたしました「ジオシンセティックス論文集（ジオテキスタイルシンポジウム発表論文集）の電子化に関するお知らせ」

(<http://www.soc.nii.ac.jp/jcigs/journal/kyodaku.htm> にも掲載) をご確認の上、ご理解をいただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。



日本語: <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jcigsjournal/-char/ja/>

英語: <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jcigsjournal>

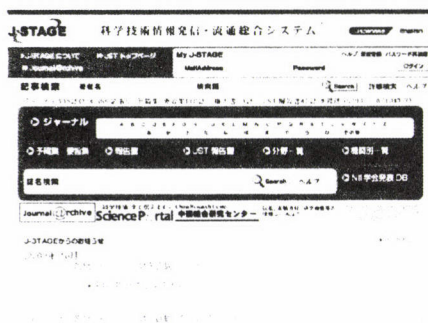


図-1 J-Stage の TOP ページ

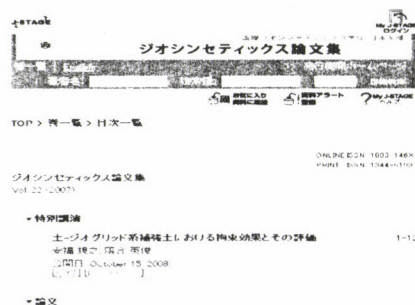


図-2 ジオシンセティックス論文集の TOP ページ